



あかね文庫お話しの会 おひさまだより



絵本アンケート

“ボランティアの方に
ききました”

☀️ Kさん

「はちかづきひめ」

「フランダースの犬」

『そらいろのたね』

幼稚園から帰ってきてお昼寝をする時に、よく母が本を読んでくれました。中でも、「はちかづき姫」のお話は頭の鉢からいろいろなものが出てきたので、すごく印象に残っています。また小学生になって初めて自分で読んだ「フランダースの犬」は、あまり悲しくて泣いてしまったこと覚えています。それから大人になり、幼稚園の先生になって初めて子どもたちに読んだ絵本は『そらいろのたね』でした。

えほんの紹介

『そらいろのたね』

ながかわえりこ／文 おおらゆりこ／絵
福音館書店



ゆうじは宝物のもけいひこうきを、きつねの「そらいろのたね」と取かえっこします。その種をゆうじが庭にまき水をやると、次の朝土の中から出てきたのは、なんと小さなそらいろの家でした！ この家はどんどん大きくなり、しまいにおしろのような立派な家になり、町中の子どもたちや森中の動物たちが入ります。そこへきつねがやってきて「このうちはぼくのうちだからね。みんなでていっておくれ！」と叫びます。しかたなくみんなは出て行き、きつねは一人おおいばり。すると、家は大きくゆれてくずれはじめます。その後家ときつねはどうなったかは絵本を見てください。

こどもは動物たちの中におなじみのぐりとぐらや動物たちを見つけて喜ぶでしょう。おなじ作者と画家による絵本です。

小さなおともだち 虫歯のないYくん！

ある日、ひまわり学級で『ダチョウのくびはなぜながい？』という絵本を読んだ時のことです。虫歯が痛くてたまらないワニと、その虫歯をぬいてやろうとしてワニにかみつかれたために首が長くなったダチョウの話です。ほんとうにワニはボロボロ涙をこぼして痛がります。その時、Yくんが「ワニ、そんなに歯が痛いのか？ ぼく歯が痛くなったことないから、わからないよ」といいます。Yくんは虫歯が一本もなく、歯医者さんのお世話になったこともないそうです。口をあ〜んと開けてみんなにみせてくれましたが、ほんとにきれいな歯でした。すると、MKくんが「おれ、きん歯があるよ！ 見てみて！」と自慢げに口を開けて治療ずみの光る歯を見せてくれたので、みんなで大笑いしました。